

認定試験対策講習会

第1回

2005/4/13

目標

- 講習会へ参加するかどうか決める
 - 情報技術認定試験制度を理解する
 - 講習会の概要を理解する
- ラップトップ上で実習ができるようにする
 - CNSにSSH接続できるようにする
 - タイピング練習ができるようにする

講義内容

- **ガイダンス**
 - 情報技術認定試験について
 - 認定試験対策講習会について

- **実習環境の構築**
 - SSH接続
 - タイピング練習環境

情報技術認定試験について

情報技術認定試験制度の概要

- “情報技術基礎”以外の情報技術科目の履修に必要な資格試験
 - 情報技術科目を8単位以上履修することが卒業要件
 - 「情報技術基礎」(4単位)
誰でも履修可能
 - 「ワークショップ」(4単位)
認定試験に合格した者しか履修できない
- 3つの科目に全て合格する必要あり
 - タイピング
 - 基礎操作科目
 - 基礎知識科目

試験科目の内容と合格基準

- **タイピング(約15分)**
 - 1分間/150字のタッチタイピング
 - 6-700字程度の英文を入力し, 誤りが10文字未満で合格
- **基本操作科目(約15分)**
 - 課題の文章(A4用紙1枚程度)をWord, LaTeX等で作成する
 - 時間内に入力が終了し, レイアウトがほぼ正確なら合格
- **基礎知識科目(約15分)**
 - 択一式の問題に解答する筆記試験
 - コンピュータ操作の基礎
 - ネットワークの基礎
 - アプリケーションソフトウェアに関する基礎
 - コンピュータ技術に関する基礎
 - CNS利用知識
 - 最低7割正解(50問中35問)で合格

認定試験制度の導入理由

- 社会的な背景
 - 高等学校における教科「情報」の設置
 - 一般家庭への情報機器の普及
- 大学側の意図
 - 入学時の各生徒の経験が大きく違うので、平準化をする
 - 授業時間内に扱うと煩雑になる、あるいは時間を取りすぎることを対象とする
 - 日常の作業に支障がない、プログラミングの授業に必要な前提知識がある、というレベルが目標である

試験科目別 合格率

- **タイピング**
 - 実施期間:2004/5/8 ~ 2005/3/31
 - 合格率:42%(1343名中564名)
- **基本操作科目**
 - 実施期間:2004/7/15 ~ 2005/3/31
 - 合格率:46%(1326名中582名)
- **基礎知識科目**
 - 実施期間:2004/7/20 ~ 2005/3/31
 - 合格率:22%(2185名中479名)

詳細は添付の参考資料を参照

認定試験対策講習会について

講習会の目的と対象者

- 目的

- 認定試験に合格するために必要な知識, 技術を復習する
 - 基礎知識科目の対策を中心に行う
 - 基礎操作科目の対策を行うかについては未定

- 対象者

- 既に認定試験を受験したが, まだ合格していない人
- 認定試験を受験していないが, 合格する自信がない人
- 「情報技術基礎」の履修経験は問わない

教室と担当講師

- **水曜2限** (11:10 ~ 12:40)
 - 担当: 杉浦学 (政策・メディア研究科 博士課程)
 - 教室: 23 各自ノートPCを持参すること

- **木曜2限** (11:10 ~ 12:40)
 - 担当: 大岩元 (環境情報学部 教授)
 - 教室: 18

2つの講座の内容は同じです

注意事項

- 単位について
 - 講習会への参加は単位になりません
 - 正式な授業科目ではありません
- その他
 - 参加者の達成状況により、学期途中で講習会を終了する可能性があります
 - 通常の授業と同じように継続的な出席をお勧めします

参加手続き

- ipl-qe@crew.sfc.keio.ac.jpへメール
 - Subject
 - join
 - 内容
 - 参加する曜日 (水曜日 or 木曜日)
 - ログイン名
 - 名前
 - (簡単な)参加の動機
- 履修申告システムによる手続きは不要

教材・Web・連絡先

- 教材は全てWebにUPします
 - 大岩研究室のWeb
(<http://www.crew.sfc.keio.ac.jp>) から
講習会のページがリンクされています
- 連絡先
 - ipl-qe@crew.sfc.keio.ac.jp

実習環境の構築

ソフトウェアのインストール

- SSH接続
 - SSH クライアントのインストール
 - Tera Term Pro & TTSSH
 - PuTTY

- タイピング練習ソフト
 - キーボード体操のインストール

次回の予定

- タイピングについて
 - 既にタイピングの試験に合格している人は参加する必要はありません

参考資料(認定試験の合格率)

受験回数と合格率の実態調査

2004年7月20日～2005年2月7日実施(87回分)

- **総受験回数 分布**
- **受験回数別 合格率**
- **合格者の受験回数分布**
- **不合格者の受験回数分布**

1. 総受験回数 分布

総受験回数	人数
1	168
2	113
3	92
4	71
5	69
6	42
7	18
8	12
9	9
10	5
11	1
12	1
14	1

総計 602人

2. 受験回数別 合格率

	受験数	合格者数	合格率
初回	602	73	12%
2回目	434	83	19%
3回目	321	71	22%
4回目	229	73	32%
5回目	158	57	36%
6回目	89	37	42%
7回目	47	21	45%
8回目	29	11	38%

8回目以上は省略

3. 合格者の受験回数分布

合格までの受験回数	人数
1	72
2	74
3	68
4	64
5	58
6	35
7	16
8	9
9	8
10	5
11	1
14	1

総計 411人

4. 不合格者の受験回数分布

これまでの受験回数	人数
1	97
2	38
3	25
4	6
5	11
6	7
7	2
8	3
9	1
12	1

総計 191人